

社会貢献 社会と未来につながる 貢献の輪を広げます

地域社会・日本社会 地域社会と共生・連携し、
未来の夢のテクノロジーを担う次世代の育成を支援します

国際社会 世界の国々の文化を尊重し、
技術や人材の育成を通じて豊かさの実現に寄与します

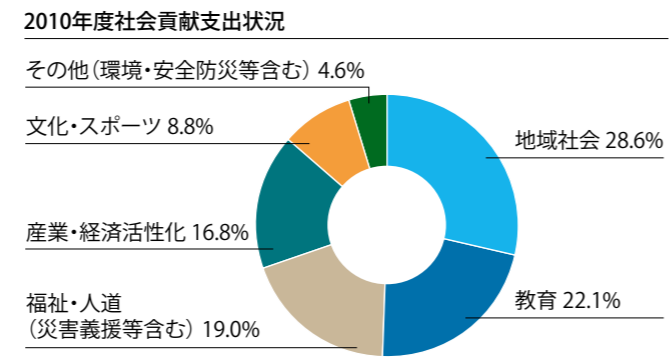
より詳しい情報は、Webサイトをご覧ください。
CSR情報 > テーマ5 社会貢献

- カワサキワールドによる次世代育成について
- 自社資源による災害等支援
- 兵庫県多可町「川崎重工 西谷なごみの森」での森づくり活動
- コラム

社会貢献支出状況(2010年度)

川崎重工グループは、各種寄付金・災害義援金のほか、自主プログラムとして、企業ミュージアム「カワサキワールド」の運営と主に子供を対象とした各種のイベント開催、文化・スポーツへの協賛、地域経済振興への協力、企業の森づくり活動などを行っています。

2010年度は東日本大震災への義援で災害義援の割合が例年に比べて大きくなっています。東日本大震災に関しては、息の長い支援が必要なことから、2011年度も引き続きさまざまなかたちでサポートしていきます。



東日本大震災被災地への支援

2011年3月11日、東日本を大震災が襲いました。当社グループは1995年の「阪神・淡路大震災」で自社の本拠地である神戸が被災した際の経験も踏まえ、現地の需要に即したいち早い支援をしています。

義援金1億円と、支援物資として当社製モーターサイクル「D-TRACKER X」と、「D-TRACKER125」、KCM製「ホイールローダ」、アーステクニカ製「破碎机」(支援物資の総額1億円相当)、総額にして2億円相当の支援を3月14日に決定しました。



ヘリコプタ
被災した宮城県の防災ヘリコプタの代替として社有機を貸与



モーターサイクル
—連絡、移動、物資運搬用として



ホイールローダ
—がれきの撤去、運搬用として

主な社会貢献活動(2010年度)

環境

兵庫県多可町「川崎重工 西谷なごみの森」での森づくり活動

当社グループは、地球環境への貢献をグループミッションに掲げる企業として、地域社会との共生や生物多様性保全への寄与を目的に2008年12月から兵庫県が推進する「企業の森づくり」事業に参画しています。兵庫県多可町の「川崎重工 西谷なごみの森」と名付けた約14haの里山林の植生を再生して生態系の保護活動を進めており、2010年度までの4回の活動に約300名の従業員と家族が参加して森林保全に取り組みました。

2010年度の間伐、除伐などの整備活動には2.89トン/年の二酸化炭素(CO₂)を吸収したことを認証するCO₂吸収量認証書を多可町から授与されました。

2011年4月の森づくり活動では、約70名が植樹、間伐、枝打ち作業を実施して里山整備を進めるとともに、里山林の自然観察会を開催して環境保護への意識を高める活動にも取り組んでいます。従業員による森づくり活動は、今後も継続して実施していきます。



間伐材を使った木工細工教室
(2010年10月)



川崎重工 西谷なごみの森
「森林によるCO₂吸収量認証式」
(2011年4月)



従業員とその家族で行った植樹活動
(2011年4月)

教育

『サイエンスフェア in 兵庫』出展

兵庫県のスーパーサイエンスハイスクール6校の主催により行われる「第3回サイエンスフェア in 兵庫」に当社も協力出展して製品や技術の紹介を行いました。当社は、未来の夢のテクノロジーを担う次世代の育成に貢献しています。



文化・スポーツ

J1サッカークラブ「ヴィッセル神戸」ソーシャルシート

当社が公式スポンサーであるヴィッセル神戸のホームゲームにおいて、震災遺児や各施設の子供たちを招待するソーシャルシートを提供し、社会福祉貢献やスポーツ振興にも寄与しています。



地域社会

企業ミュージアム「カワサキワールド」

当社は、2006年に企業ミュージアム「カワサキワールド」を設立し、2011年には一部リニューアルを行っています。この「カワサキワールド」では、地域社会とのコミュニケーション活動の一環としてさまざまなイベントを開催し、次世代育成にも貢献しています。

